



大分市議会議員 **たかの博幸** ひろゆき

2025.7
No.75

市政れぽーと

連絡先／大分市田尻南2丁目3番17号 TEL 586-1156 FAX 586-1186
E-mail : takano.hiroyuki.0425@gmail.com

会派を代表して反対討論にたつ

ー使用料等の見直しについてー

令和7年第2回定例会が6月9日～23日の日程で開催され、議第73号(大分市市民行政センター条例等の一部改正について)、議第79号(大分いこいの道広場条例の一部改正について)が提案されました。これらの条例改正案は、使用料の見直しを通じて「受益者負担の適正化」を図るものとされています。制度の見直しそのものには理解を示しますが、これに伴って減免制度の運用が大きく転換され、大分市スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブが実質的に減免対象から外されるという方針には、強い懸念を抱かざるを得ません。

この運用変更は、条例本文には明記されていませんが、実際には施行と一体不可分であり、制度の本質を変えるものです。令和7年第1回定例会では「考え方」のみが示され、6月に入ってから具体的な対象が明かされたような進め方では、議会も市民も、適切な判断を下す機会が十分に与えられたとは言えません。

また、こうした見直しは本市の「第2期スポーツ推進計画」とも整合していない点も看過できません。同計画では、「学校施設や園庭の開放」「スポーツ少年団への支援」「クラブ会員数の増加」などが具体的に掲げられているにもかかわらず、減免の縮小はこれらの施策の実現可能性を自ら損なう矛盾した対応です。

中でも特に問題なのは、大分市スポーツ少年団の扱いです。地域の子どもたちの健全育成を支えてきたこの活動を、減免の対象から外すということは、善意で関わってきた保護者や指導者の皆さんに、急に負担を求めるということにほかなりません。

また、政策面でも問題は残ります。使用料を引き上げれば利用者が減り、結果として期待した歳入が得られないばかりか、健康施策や子育て支援の分野で新たな行政コストが発生するリスクがあります。④面へ続く→



市政についてのご意見・ご相談はお気軽にどうぞ！

きずな

発行所・大分市議会・ネットワークみらい
住 所・大分市荷揚町2番31号

6月議会

6月9日(月)～23日(月)までの間、第2回定例会が開催されました。今回の補正予算は、昨年度実施した「定額減税補足給付金事業」の不足分の追加給付を行うための経費や「缶・びん収集運搬業務委託料」、「福宗環境センター維持管理事業」の経費等が計上され、承認されました。しかしながら、大分市公共施設の使用料改定等に関する議案については、市民生活への影響が大きいことも踏まえ、反対討論を高野議員(右画像)が会派を代表して行いました。詳細は下記の通りです。



☆注目☆ 大分市市民行政センター条例等の一部改正について ☆反対討論☆

大分市公共施設の使用料の額を改定等する議案。34施設等にも及ぶ使用料の額を「受益者負担の原則」・「使用料算定方法の明確化」・「定期的な使用料の見直し」という基本方針の下、一気に改定しようとする本議案。施設の老朽化が進行する中、今後の施設の維持補修も含めた管理運営費の増加想定を考慮すると、上記の基本方針については一定程度理解するものの、本議案内には直接触れていない「減免措置」の見直しも進められようとしています。これまで減免措置を受けていた総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団など、地域で社会教育の普及促進を担っている公益性の高い活動団体が、**これまで同様の減免が受けられなくなるという運用方針**です。この点もふまえ、「過度な受益者負担になっていないか」、「減免基準見直しの影響が大きい」、「市民への周知期間が足りない」等、多くの問題点を各委員会で我が会派から質問・意見。また、文教常任委員会では、子どもたちに関わる団体、地域で活動されている団体等が使用している学校施設等のことであり、「各種団体の今後の活動の維持継続に重大な影響を及ぼす」として、党派会派問わず全議員が課題等を発言。

他の委員会での議論経過も踏まえて、「減免基準の見直し」の実施時期が当初予定より5か月間延期され2026年4月からと変更になりました。周知期間はある程度確保されたとは一定の評価はしますが、指摘した根本の問題点等が改善されたとは言えず、「負担の公平」という名のもとに地域の公益活動を縮減することにつながりかねないことから**本議案には会派として反対**しました。

補正予算

補正後の予算額 2286億4600万円

◎定額減税補足給付金(不足額給付)事業 19億9600万円

2024(令和6)年度に実施した「定額減税補足給付金事業」について、令和5年所得等を基に推計で算定された調整給付額が、令和6年分所得税の確定等に基づき算出した本来給付すべき額と比べ不足する市民等に対して給付を行います。

【債務負担行為】「債務負担行為」とは・・・地方自治体などが複数年にまたがる契約(工事やリース)を結ぶとき、将来の予算で支払う約束を議会の承認を得て、あらかじめ決めておくこと。

◎缶・びん収集運搬業務委託 限度額 6300万円

令和7年5月9日付で契約解除を行った収集運搬業務委託について、次期受託者の指名競争入札を行うため設定。

◎福宗環境センター維持管理事業 限度額 3億3800万円

これまで、単年度の随意契約で発注していた維持管理業務委託について、複数年契約の入札を行うため設定。

【特別会計】 公共下水道事業会計 1億800万円

◎大規模下水道管路特別重点調査等事業 他 債務負担行為 1件

本年1月に八潮市(埼玉県)で発生した道路陥没事故を受け、国の予備費により実施する大規模下水道管路特別重点調査等事業について、大分市でも緊急調査等を行います。また、債務負担行為として、弁天水資源再生センター水処理脱臭設備等の改築に係る経費です。

一般議案

◎大分市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い所要の改正を行うもの。部分休業制度の拡充として、「1年につき10日を超えない範囲内で取得」が追加され、選択可能となった。

◎大分市税条例等の一部改正について

地方税法の一部改正に伴い、特定親族特別控除が創設されたことや加熱式たばこの課税方式の見直しが行われることなどから所要の改正を行うもの。ちなみに、課税方式が「重量のみ」で換算されるようになり、20～50円の値上がりが想定されている。

◎工事請負契約の締結について

大分市教育施設整備保全計画に基づき、大分市立荏隈小学校(約2億3848万円)、大分市立別保小学校(約2億1893万円)の屋内運動場(体育館)長寿命化改修工事について請負契約を締結。空調設備については別途工事で本年度中に完了予定。

長寿命化改修工事が完了した判田中体育館→



【意見書・請願】 次の意見書(我が会派から提出)や請願が採択され、関係機関へ送付されました。

◎地方財政の充実・強化に関する意見書

少子高齢化による社会保障や物価高騰対策など地方公共団体の役割が増大する中、地方財政の充実・強化を国に求めるもの。

◎豊かな学びの実現と義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書 ※2018年以降の採択！

教育環境改善のため、義務教育費の国庫負担の割合を以前の水準(2分の1)に復元することを国に求めるもの。

◎2025年度大分県最低賃金の改正等に関する請願(意見書付き) 紹介議員に宮邊和弘議員・他連合議員懇議員

県内の最低賃金を引き上げ、地域間格差の是正と、そのための中小事業者への支援など環境を整備することを求めるもの。

○ 会派「ネットワークみらい」からの決意表明 ○

このたび、大分市議会議員の元議員(自民党所属)が、指名競争入札において市職員から予定価格を聞き出し、業者に漏らして落札させた疑いで入札妨害容疑により逮捕されました(逮捕当時は現職議員)(その後再逮捕)。このような不正行為は、大分市議会議員の政治倫理に関する条例の趣旨に明確に反するものであり、市民のみなさまの信頼を著しく損なう重大事案です。断じて容認できるものではなく、厳しく糾弾されるべきものと考えます。私たちの所属する会派「ネットワークみらい」は、徹底した情報公開とクリーンな政治の実現を最優先に掲げています。今回の事件を風化させることなく、原因の徹底究明と再発防止策の策定に全力で取り組むとともに、すべての議員・会派が不断に自戒と自浄を重ね、市民のみなさまが「政治は信頼できる」と実感できる議会環境の構築に努めます。私たち「ネットワークみらい」に所属する議員団は、今回の事態を重く受けとめ、一層信頼される議会づくりに取り組んでまいります。

さらに、制度運用の重要変更であるにもかかわらず、所管であるスポーツ推進審議会への正式な諮問がなされていないことも、手続的な正当性に疑義を生じさせます。

私たちは、条例改正そのものの趣旨には賛成しています。特に、議第73号における大分駅前広場の時間区分を4区分、議第79号大分いこいの道広場の時間区分を3区分に分割する提案は利便性向上につながると評価しております。しかし、減免運用の見直しがこのまま強行されれば、市民の信頼を損ね、地域社会の土台を揺るがしかねません。

拙速な実施ではなく、制度設計の誠実さと、市民との丁寧な対話が何よりも求められています。市民の声を真正面から受け止め、議会としての良識を示すためにも、反対しました。

採決の結果、我が会派と日本共産党が反対しましたが、原案は承認されました。

大分豊府中学校との意見交換



大分市議会では、平成23年度から若者の政治参加意識を喚起することを目的に、高校、大学(短期大学)、専門学校(3つ)に区分する中、各1校以上と意見交換を実施しています。その一環として、7月1日に大分豊府中学校3年生と意見交換を行いました。

生徒からは、「おすすめの観光スポットは」、「リサイクルの取り組みは」、「空港が遠い」など、様々な意見を聞くことができました。

短い時間でしたが、大変有意義な意見交換となりました。

たかのっ走る



3月	20日	「おおいた人とみどりふれあいいち」開会式	5月	14~16日	建設常任委員会視察 ・呉市…豪雨災害による雨水排水対策について ・松山市…みんなで歩いて暮らせるまちづくりについて
	25日	観光振興対策特別委員会		17日	植田南中学校体育大会
	26日	市議会防災会議		19日	おおいたホームタウン推進協議会総会
	27日	市議会議員退任者功労表彰式		26日	議会活性化推進会議
4月	10日	植田南中学校入学式、議会活性化推進会議	6月	1日	東植田校区青少協総会
	11日	田尻小学校入学式		24日	大分市優良建設工事表彰式
	13日	藤野自治会総会		25日	議会活性化推進会議
	16日	火群まつり実行委員会総会		26日	児童育成クラブ運営委員会代表者会議
	22~24日	ネットワークみらい会派視察 ・さいたま市…アーバンスポーツ活性化事業について ・いわき市…ヤングケアラー支援について	7月	1日	田ノ浦海水浴場海開き 豊府中学校意見交換
	26日	東植田校区社協定時総会			
	27日	田尻GH連合自治会総会			
	28日	議会活性化推進会議			